

携行日：2023年6月14日(水) 9:10 仲町台駅 集合

・中川駅 9:02~9:09 仲町台駅

行程：仲町台駅~折本農業専用地区~真照寺~都筑スポーツセンター(休憩)~浄念寺川せせらぎ緑道  
~長王寺~福聚院~阿弥陀堂~藪根バス停 (ららぽーと横兵の北側) (解散)



- ・真照寺 真宗大谷派 詩人 佐藤惣之助や歌人大野林火の句碑 石川作芥
- ・長王寺 高野山真言宗 C・グラン夫妻の墓があったが、今はない。(デンマーク人、奥さんは櫛田ヨシ)
- ・福聚院 高野山真言宗 牧野よし:へボン博士夫妻と 30 年間も行動を共にした女性  
三留嘉之 牧野よし の長女の夫 (三留義塾:英語塾)
- ・観音寺阿弥陀堂 高野山真言宗 嶋村文耕(島村抱月の養父)「芸術座」新劇を職業として成立させた。  
松井須磨子(「復活:原作NUT」の 劇中歌「カチューシャの歌」との恋愛も有名

帰路：藪根バス停 (ららぽーとの北側)

東急バス	市03(市が尾駅行)	約10分で川和公会堂前で下車	11:00, 20, 40	12:01, 21, 41
市営バス	41系統(中山駅行)	約15分で中山駅	11:45	12:46
東急バス	市03(新横浜駅行,小机経由)	約30分で新横浜	11:16, 36, 57	12:17, 37, 56
市営バス	41系統(新横浜駅行)	約20分で新羽駅	11:35	12:36



## ⑥都筑南部で活躍した人を訪ねる 資料)

### 1 折本農業専用地区

農業専用地区とは、都市農業の確立と都市環境の保全を目指し、創設した 横浜市独自の農業振興策。他区に先行して港北ニュータウン事業を契機に、昭和 44 年度 都筑区に6か所の「農業専用地区」を指定し、現在、市全体では27地区が指定されている。都筑区には横浜市の約 20%を占める農業専用地区が集まっている。南部では ①新羽・大熊農業専用地区 ②大熊農業専用地区 ③折本農業専用地区 ④東方農業専用地区 ⑤池辺農業専用地区 北部に牛久保農業専用地区がある。

「2015 年横浜市農林業センサス」によると、都筑区の農家数は 564 戸と横浜市 18 区のなかで一番多く、耕作地面積では泉区の 318ha に次いで二番目である。「はま菜ちゃん」の愛称がある小松菜やホウレン草などの野菜生産がもっとも多く、都筑区を代表する野菜となっている。面積は 43ha、東京ドーム約 9 個分。

### 2 真照寺

真宗大谷派(東本願寺)、本尊は阿弥陀如来。永禄 6 年(1563)開山。第 4 世・精正法印のときには、3 代将軍・徳川家光から朱印地(年貢・課役が免除)を賜った。昭和 26 年(1951)に本堂の屋根を茅葺から瓦葺きに、同 54 年(1979)に庫裡、客殿を改築した。山門をくぐると右手に大王松、左手には名木古木指定の樹齢170年のハクモクレンやサルスベリがある。



境内には、「大いなる田舎・折本」をこよなく愛し、「赤城の子守歌」や「大阪(阪神)タイガースの歌」などで知られる詩人・作詞家の佐藤惣之助の詩碑、俳人・大野林火、中戸川朝人の句碑が趣を添えている。また私塾「近視学舎」を開き、東方村、折本村の子供たちを教えた、鳥取県出身の教育者・石川作菴(さくあん)の墓と遺徳碑もある。



### 3 都筑スポーツセンター

3つの体育室ではバスケット、バレーボール、バドミントン、卓球など、各種のトレーニングができる部屋あり。また、会議、少人数のヨガやダンスに利用できる研修室もある。

※兎に角 不便です：600系統 仲町台駅行【循環内回りバス】1本/時  
例：仲町台 10:00~10:12 龍雲寺下車(200m 手前)

### 4 浄念寺川せせらぎ緑道

都田幼稚園と池辺保育園から、浄念寺会館前を通過して、梅田橋交差点までの約 800mの水辺を持つ緑道。特に会館より北側は、竹林が多く小型の水車が回り豊かな自然を楽しめる。都田幼稚園の脇の下り坂はかなり急です。



### 5 長王寺

高野山真言宗、本尊は薬師瑠璃光如来、開創年は天和元年(1681)。樹齢 700 年を超える大銀杏は、乳柱が下がり「乳出し銀杏」として親しまれている。C・グランとよし夫妻の墓があったが、現在は外国人墓地に移動している。  
↑都田小学校の裏山に、「風車のある異人館」を建て住んでいた。



## 6 福聚院

高野山真言宗、本尊は不動明王。開創年は天文23年(1554)で白壁の扉づたいに行くと山門がある。樹齢350年以上の大銀杏、樹齢300年以上のサルスベリその他、しだれ梅の古木もある。境内に池辺出身の三留嘉之が開いた三留義塾の碑がある。



## 7 阿弥陀堂

明治6年(1873)に池辺村に邏卒(現在の巡查)が配属された。この邏卒が明治の文学者島村抱月の養父嶋村文耕(のちに検事)である。阿弥陀堂の境内に島村抱月が養父嶋村文耕のために建てた墓碑がある。



**島村抱月:** 明治4年(1871)~大正7年(1918)

島根県生れ、小学校卒業後苦学して裁判所書記になる。検事として赴任していた嶋村文耕に見込まれ、明治24年(1891)養子となる。(後に文耕の姪と結婚) 早稲田を卒業後、記者、大学講師、明治35年オックスフォード大学とペルソ大学に留学、明治38年早稲田文学部教授。坪内逍遙とともに文芸協会を設立、「自然主義文学」の旗手。新劇運動で、女優の松井須磨子との恋愛沙汰で退団。大正3年劇団・芸術座を結成、「復活」(原作ノスト)劇中歌「カチューシャの歌」で大ヒット。抱月は大正7年スペイン風邪で死亡。(須磨子は翌年自殺)

(番外)

## 8 牧野よしが開いた英語塾跡

安政6年(1859)に来日したヘボン博士と妻のクララは宣教師の仕事、聖書の翻訳、診療所での治療などで多忙であった。推薦されてヘボン博士邸に入った牧野よしは英語を学びヘボン夫妻の活動を支えた。ヘボン博士が帰国後は池辺に戻り、八所谷戸の小泉家の場所に英語塾を開いた。

「都筑にゆかりがあった”ひと”」から、**牧野よし**: 13歳で江戸城の大奥に行儀見習いとして入り、文久2年(1862)20歳の時にお宿下がりして、実家に戻ったが、21歳の時神奈川奉行所からの依頼でヘボン博士の家(山下町)に住込みで働くことになった。

明治25(1892)年に夫妻がアメリカに帰国するまでの約30年間、夫妻と行動を共にした。ヘボン邸で働いていた糸七さんと結婚しても、子どもが生まれた後も、夫妻を支え続けた。英語の上達ぶりは夫妻を驚かせ、のちにヘボン塾の教師も務めるようになる。日本人初の女性の英語教師と言われている

## 9 宗忠寺

浄土宗、本尊は阿弥陀如来。開創年は寛文年間(1661~1673)徳川家康の家来小笠原宗忠により建立された。俗に殿様寺といい池辺富士から葛が谷公園あたりまでが寺領であったといわれている。

(引用・参考文献)

- ・ガイドと共につづきを歩こう No27 都筑をガイドする会
- ・都筑区 水と緑の散策マップ 横浜市都筑区役所
- ・「つづき交流ステーション」の「都筑にゆかりがあった”ひと”」